学校番号	1008

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｂ	単位数	２単位	年次	２・３年次
使用教科書	数研出版「高等学校　数学Ｂ」						
副教材等	数研出版「４プロセス数学 II+B+C」						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

級数の考え、代数幾何学へつながる新たな分野です。また統計的な推測は統計学につながる分野です。好奇心をもって取り組んでください。
・あきらめずに課題に取り組み、周りの人と協働で考える活動に取り組んでください。
・問題集用のノートを用意してください。
・家庭学習における課題として定期的に点検します。毎時間課される課題に取り組んでください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】数列、統計的な推測、平面上のベクトルの考えについて、基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理 したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力、図形を代数的に表現し、処理等を行う力に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・数列，統計的な推測、平面上のベクトルについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・数学と社会生活の関わりについて認識を深めている。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	・離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現したり考察したりすることができる。 ・確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりすることができる。 ・日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりすることができる。 ・図形を代数的に表現し、処理等を行うことができる。	・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
第1学期	1章 数列	数列 数列 等差数列 等差数列の和 等比数列 等比数列の和 和の記号Σ 階差数列 いろいろな数列 漸化式と数学的帰納法 漸化式 数学的帰納法	a: さまざまな数列の一般項や和を求めたり数学的帰納法を用いて命題を証明したりすることができる。記号Σを用いた和の表し方を理解している。漸化式について理解し，漸化式で定められた数列の一般項を求めることができる。 b: さまざまな数列について離散的な変化の規則性に着目し、一般項や和を多面的に求めることができる。$\sum_{k=1}^{n} k^3$の公式を，$\sum_{k=1}^{n} k^2$の公式を導く過程と関連付けて導くなど事象を数学的に表現したり考察したりすることができる。再帰的な関係に着目し，数列を利用して日常の事象に関する問題を解決することができる。 c: 数列や漸化式について学んだことを振り返り，考察を深め日常の事象の問題解決に生かそうとしている。数学的帰納法による証明と他の証明方法を比較し，多面的に考えようとしている。	確認テスト 単元テスト 定期テスト	確認テスト 単元テスト 定期テスト ワークシート	ワークシート 観察

第2学期	2章 統計的な推量	標本調査 母集団と標本 確率分布 確率変数と確率分布 確率変数の平均と分散 確率変数の和と積 二項分布 正規分布 正規分布 統計的な推量 母集団の分布 標本平均の分布 母平均の推定 仮説検定の方法	a: 確率分布や二項分布・正規分布の性質について理解し、それらに従う確率変数についての平均や分散，標準偏差を求めることができる。また確率変数の和の平均，および独立な確率変換の積の平均や和の分散を求めることができる。 b: 二項分布および正規分布の特徴に着目し，二項分布の正規分布による近似を利用して，二項分布で表される確率を考察することができる。 c: 具体例を通して確率変数と確率分布について考察し，応用することができる。また二項分布や正規分布とその性質について考察を深め日常の事象の問題解決に活かそうとしている。	確認テスト 単元テスト 定期テスト	確認テスト 単元テスト 定期テスト ワークシート	ワークシート 観察
	3章 数学と社会生活	現象と数学 現象のモデル	a：日常の事象や社会の事象などを数学化し，数理的に問題を解決する方法を知っている。 b：日常の事象や社会の事象において，問題を数学的に表現することができ，問題解決の過程や結果の妥当性について批判的に考察することができる。 c：日常の事象や社会の事象などを数学を用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	確認テスト	確認テスト ワークシート	ワークシート 観察

第3学期	ベクトル	平面上のベクトル ベクトルの意味 加法･減法･実数倍 成分 内積 ベクトルの応用 位置ベクトル ベクトル方程式	a：平面上のベクトルの意味，相等，和，差，実数倍，位置ベクトル，ベクトルの成分表示，内積及びその基本的な性質について理解している。 b：ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて，平面図形や空間図形の性質を見いだしたり，多面的に考察したりすることができる。 c：事象をベクトルの考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	確認テスト 単元テスト 定期テスト	確認テスト 単元テスト 定期テスト ワークシート	ワークシート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度